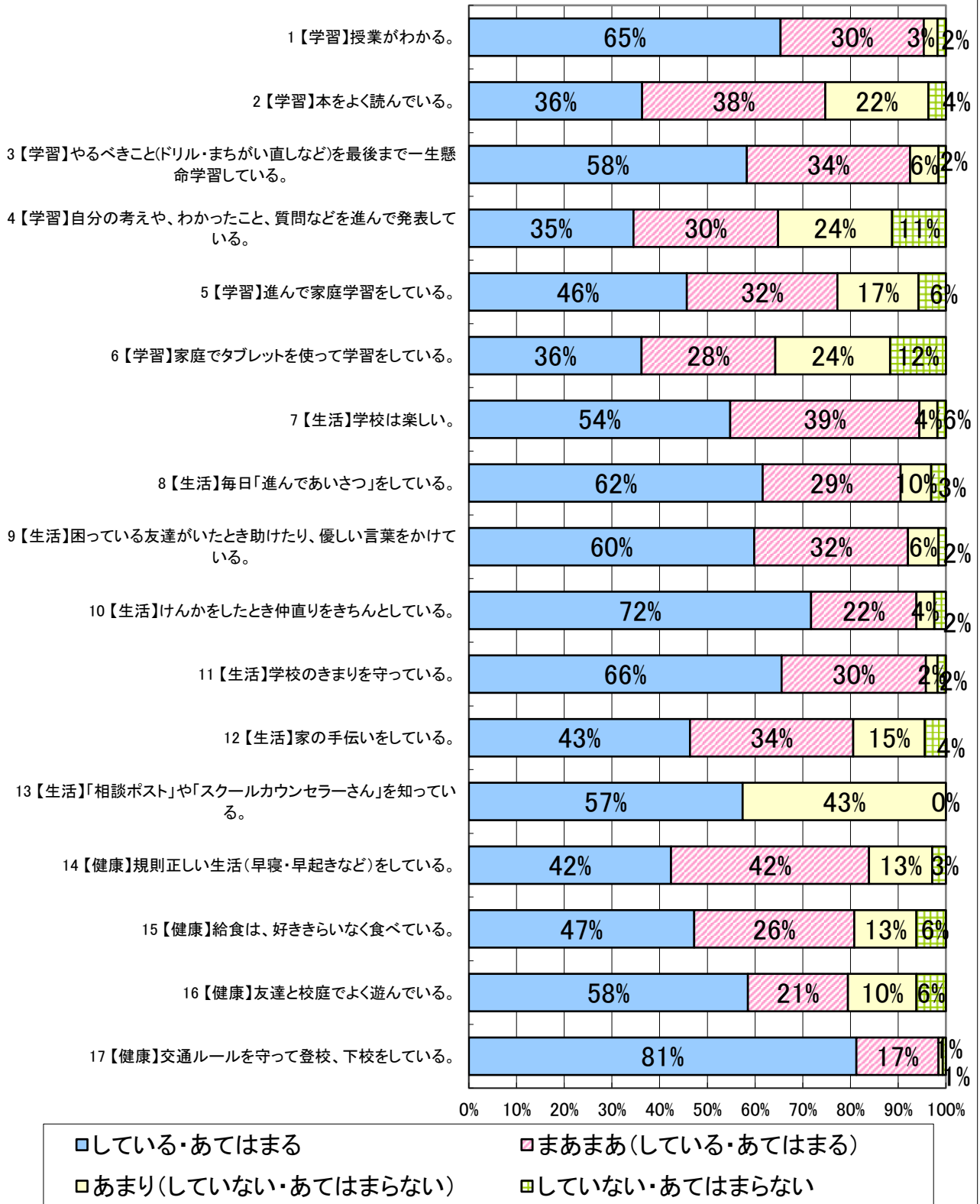


項目	アンケート結果から	改善策等
学習指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「授業がわかる」の設問で、95%が肯定的な回答です。算数の指導法改善に取り組み、発問の仕方やICT機器の活用を充実させてきた効果と考えます。 ・保護者アンケートでは、「基礎基本が身につけている」の設問で、肯定的な回答は80%、「教員はわかりやすい授業に努めている」の設問で、肯定的な回答は98%です。児童、保護者とも向上が見られました。感染症対応のため、話し合い活動等は制限もある中、算数科を中心に、児童のつまずきへの手立てを工夫し授業改善に努めてきた効果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、タブレットを活用し、わかる授業の実現に努めていきます。これに加え、外部人材や学校図書館などの体験学習も充実させていきます。 ・低学年には少人数指導教員を配置し、算数のつまずきに対応します。また、高学年には、柏市教育委員会指導主事の指導を受け、教職員の指導力向上に努めていきます。
伝え合う力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「自分の考えや、わかったこと、質問などを進んで発表している」の設問で、肯定的な回答は65%で、昨年度同様でした。引き続き表現力の向上を目指し、授業改善に努めてきた結果の効果が表れ、維持できていると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝え合う力」を育成するために、算数で育む表現力を、各教科の授業でも学習形態や伝え合う場面を工夫し、自身の考えを深めていく授業を充実させていきます。 ・児童の発達段階に応じた表現方法が獲得できるよう、各教科で様々な体験をさせていきます。
家庭学習の定着	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート、「進んで家庭学習をしている」の設問で78%が肯定的な回答で、昨年度から10%の向上が見られます。家庭学習のスタイルの定着がうかがえます。 ・家庭でのデジタル教材の活用は、児童64%、保護者62%で肯定的な回答が増えていました。タブレットの持ち帰りにより、ICTを活用した主体的な学習の時間が増えていることがうかがえます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習は、学習の定着をねらうとともに、学ぶ習慣を身につけさせるために行っています。低学年で家庭学習の習慣が身につくように、中学年からは自主的に学習課題を決めて学習するよう指導しています。家庭学習の工夫についての情報は、懇談会等でも共有していきます。 ・自主学习にタブレット活用を加え、基礎基本の定着を図っていきます。
読書の推奨	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「本をよく読んでいる」の設問で74%が肯定的な回答、保護者アンケート「本をよく読んでいる」の設問で肯定的な回答は45%です。児童、保護者とも向上が見られました。図書委員会による放送での本の貸し出しの呼びかけや休み時間に図書の時間の設定等が行われたことに起因していることがうかがえます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・豊四季中学校区共通の取組「貯本箱」を活用し、多くの本に触れ豊かな読書活動の工夫に努めていきます。 ・並行読書、ビブリオバトル、ブックトークなどの活動を学習内容に効果的に取り入れ、本との出会いの場を作っていきます。 ・本の貸出方法や貸出冊数の工夫をして、読書の機会を増やしてさらなる向上につなげていきます。

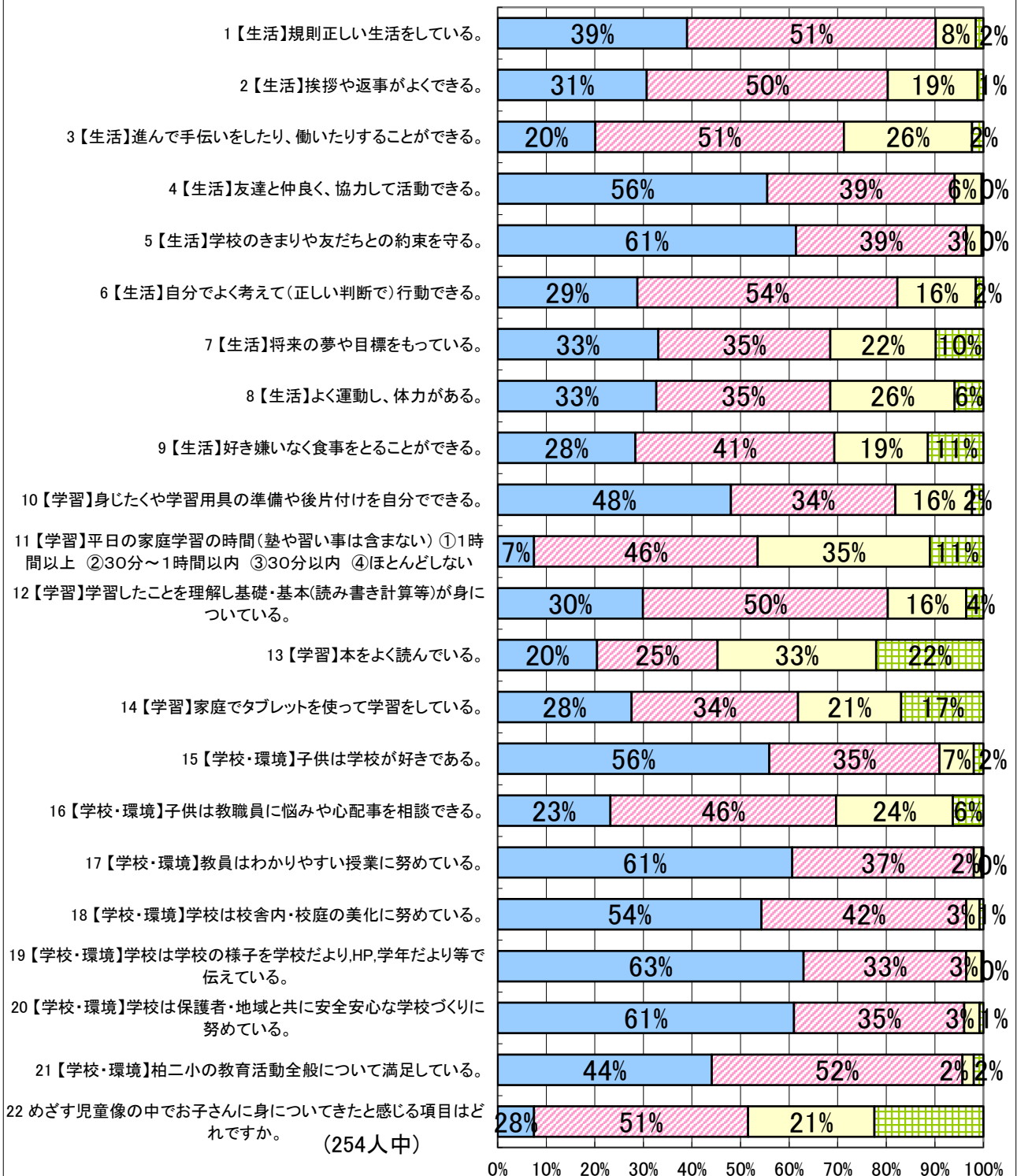
良 好 な 人 間 関 係 (生 徒 指 導)	学校生活の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「学校は楽しい」の設問で93%が肯定的な回答、保護者アンケート「子どもは学校が好き」の設問で91%が肯定的な回答で、児童に8%の向上が見られました。感染症対応の中、様々な学校行事が実施できるよう模索したことに起因していると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も基本的な感染症対策を行う中でも、子供の主体性を大切にし、互いを認め合い、喜びが共有できるような学校行事や学級活動の工夫に努めていきます。 ・学習や児童会活動はICT機器も活用し、学校生活を通して達成感や成就感を感じられるような活動を行います。
	生徒指導の充実 (いじめ対策)	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「けんかをしたとき仲直りをきちんとしている」で94%が肯定的な回答、保護者アンケート「友だちと仲良く、協力して活動できる」で95%が肯定的な回答です。その都度、いじめや問題行動を受け止め、学年や学校全体で解消に努めるよう心がけている成果であると考えます。 ・保護者アンケート「子供は教職員に悩みや心配事を相談できる」の設問で、肯定的な回答は69%で、昨年度とほぼ同じ評価です。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いじめは絶対に許さない」という教職員の共通理解のもと、教育相談やいじめアンケート、Q-Uテストを活用し、子供たちの悩みへの早期発見・早期対応に努めていきます。 ・課題の初期対応を丁寧にして、学年及び学校体制で教育相談活動を充実させていきます。今後も家庭との連絡を密にして課題に対応していきます。
	あいさつの励行	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケートでは、「毎日『進んであいさつ』をしている」は、91%が肯定的な回答、保護者アンケート「挨拶や返事がよくできる」の設問で81%が肯定的な回答です。昨年度同様の値でしたが、年間を通して生活目標に掲げ、高学年児童が率先して挨拶を行ってきた成果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来校者からは、挨拶ができる児童が多いとお褒めの言葉をいただいております。引き続き、校内で気持ちよい挨拶が響きわたるよう定着させていきます。 ・青少協、中学校区で連携し、挨拶の重点指導週間などを設けて、校外でも取り組んでいきます。
健 康 ・ 安 全 指 導	体育・健康教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート、「友達と校庭でよく遊んでいる」の設問は、79%が肯定的な回答、保護者アンケート「よく運動し、体力がある」の設問では、69%が肯定的な回答です。児童、保護者とも若干の減少が見られました。休み時間に校庭の使用時間を割り当てたことにより、外遊びの機会が制限されていることが起因したと推察されます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も感染症対応のため、休み時間の過ごし方に制限がありました。今後も使用時間を割り当て、外で遊ぶ楽しさを経験させていきます。 ・教科体育においても、感染症対応を行う中でも指導内容や指導方法を工夫し、さまざまな運動に親しむ授業に努めていきます。
	安全指導について	<ul style="list-style-type: none"> ・児童アンケート「交通ルールを守って登校、下校をしている」の設問では、98%が肯定的な回答です。保護者アンケート「学校は保護者・地域と共に安全安心な学校づくりに努めている」の設問では、96%が肯定的な回答です。危険箇所の多い学区ですが、日常の安全指導を、学校・家庭・地域で連携して行っている成果であると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA、教職員、交通安全推進隊の見守りを行っておりますが、さらに地域の方々の協力をお願いしていきます。また、関係機関と連携し「すくすくメール」や「スクリレ」による情報提供を、適宜行っていきます。 ・事故や怪我については、状況確認と経過観察等を丁寧に行い、きめ細やかな対応をしていきます。

「めざす児童像の中でお子さんに身につけてきたと感じる項目」を複数回答としてアンケートを集計したところ、「かしこい子」が28%、「やさしい子」が51%、「たくましい子」が21%でした。身につけてきた資質はさらに伸ばし、知徳体の調和のとれた教育を推進していきたいと考えます。今後も、本校の教育活動へ一層の御理解と御協力をお願いいたします。

柏第二小児童アンケート結果項目別



柏第二小保護者アンケート結果項目別



はい
 どちらかといえばはい
 どちらかといえいいえ
 いいえ